

〇3 節-2 ノリ養殖業対策

1. 養殖施設の適正配置の指導, 育苗期のノリ芽健全度調査の実施, 生育状況の情報提供, 既存の気象海況・生産状況のデータベース化, 養殖管理情報の提供等の技術指導

今年度の養殖施設の配置については好適漁場を優先的に利用し、生育状況を確認しながら養殖に向けた網の展開を実施するよう指導したほか、育苗期のノリ芽健全度調査を7回、秋芽生産期の漁場巡回調査を4回、水質観測結果や留意点をまとめたのり養殖通報の発行を11回実施し養殖管理情報を提供しました。

今年度の養殖経過は以下のとおりです。

9月下旬から10月上旬に陸上採苗と採苗網の張り込みが行われましたが、9月下旬には一旦23℃台に低下した水温が27℃台まで上昇したため著しいノリ芽の脱落が生じてしまいました。10月以降に育苗を開始した網は大きな問題無く生長しましたが、生産者によっては予定枚数の種網を確保することができませんでした。

生産に向けた網の展開は11月上旬から浮き流し漁場を中心に開始され、行徳の浮き流し漁場では11月下旬に収穫が始まりました。船橋の浮き流し漁場でも12月に入って収穫が開始され、12月下旬以降は支柱柵でも収穫が行われるようになりました。

今期は昨年が続いて、全県的に11～1月の生産が低迷しましたが、三番瀬では11月下旬以降、継続的に良質のノリの収穫が行われ例年を上回る価格での取引が続いており、今後の生産が期待されます。

【参考：生産状況（3月8日現在）】

地区	枚数		金額	
	千枚	同期比	千円	同期比
三番瀬	7,367	69%	145,501	126%
（市川地区）	4,695	102%	98,905	204%
（船橋地区）	2,672	44%	46,596	70%
木更津地区	14,246	73%	196,971	80%
富津地区	54,373	35%	876,217	52%
全 県	75,986	41%	1,218,689	60%
全 国	5,101,097		71,425,703	

※同期比は、いずれも平年（23～27年までの5中3）との比較とした。